

小型破裂脳動脈瘤の治療と予後に関する研究

1. 研究の対象

2012年1月1日から2022年12月31日の期間に、主幹施設及び研究協力機関において治療されたくも膜下出血症例のうちで以下を満たすものとします。

- 1) 破裂脳動脈瘤による症例
- 2) 動脈瘤の形状が嚢状である症例
- 3) 動脈瘤の大きさが10mm未満である症例
- 4) 動脈瘤に対する治療が発症後72時間以内に開始された症例

2. 研究目的・方法

近年の開頭術やカテーテル治療の進歩にも関わらず、破裂脳動脈瘤の治療成績の経年的な改善は思わしくありません。大型（10mm以上）や巨大（25mm以上）動脈瘤の治療が難しいことは以前から知られていましたが、最近ごく小型（4mm未満）の動脈瘤の治療の成績が芳しくないことがわかりました。

本研究では、小型の破裂動脈瘤の治療成績と予後を調査することでより良い治療方法を確立させることを目的とします。分析に当たっては、中型（4mm-10mm）動脈瘤との比較対照を行います。

研究期間は、倫理委員会承認日～2025年3月31日とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：破裂脳動脈瘤の大きさ、治療方法、治療による後遺症、等

4. 外部への試料・情報の提供

高知大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

福田 仁	高知大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授
野島 祐司	幡多けんみん病院脳神経外科 部長
林 悟	近森病院脳神経外科 部長
西村 裕之	高知医療センター脳神経外科 部長
泉谷 智彦	高知赤十字病院第一脳神経外科 部長
梶田 健	愛宕病院脳神経外科 マイクロサージャリー部長

楠木 司 いずみの病院 理事長
森木 章人 もみのき病院 院長
中城 登仁 土佐市民病院脳神経外科 部長

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1、TEL: 088-880-2397

研究責任者：高知大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 福田 仁

研究分担者：高知大学医学部附属病院 脳神経外科 教授 上羽 哲也

-----以上